

| 項目                         | 確認事項  | 届出内容   |
|----------------------------|---|--|
| 基本情報                       | 大学等名1(代表大学等)  | 大阪電気通信大学   |
|                            | 大学等名1(代表大学等)※カナ   | オオサカデンキツウシンダイガク  |
|                            | 大学等名1(代表大学等)学校所在地   | 大阪府  |
|                            | 大学等名1(代表大学等)学校種別  | 私立大学   |
|                            | 大学等名2(連携大学等)  |  |
|                            | 大学等名2(連携大学等)学校所在地   |  |
|                            | 大学等名2(連携大学等)学校種別  |  |
|                            | 科目名   | インターンシップ   |
|                            | 学部・研究科等名  | 工学部、情報通信工学部  |
|                            | 担当教職員名・役職   | 各学科主任  |
| 受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数 | 48  |  |
| 受入企業等数                     | 27  |  |
| 受入企業等名                     | アイクラフト株式会社、株式会社アルトナー、株式会社オンテック、サンショウシステム株式会社、フルタニ産業株式会社、株式会社アイティジョイン、株式会社エフ・ラボ、株式会社クラックスシステム、株式会社グローバルパーツ、株式会社センショー、株式会社ソフトム、株式会社マイスターエンジニアリング、株式会社ミヤワキ、株式会社リサイクル、株式会社レザック、株式会社壬生電機製作所、株式会社日興紹介、株式会社ソフトウェアコントロール、久米電気株式会社、協和テクノロジズ株式会社、寺崎電気産業株式会社、住友電設株式会社、和田電器株式会社、大和電設工業株式会社、新興機械工業株式会社、池永精機株式会社、日本電設工業株式会社 |  |
| インターンシップの分類                | 9. 中小企業でのインターンシップ<br>10. 地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ   |  |
| 上記以外のインターンシップの分類(記述欄)      |   |  |
| 要素①                        | 1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。  | 1.はい   |
|                            | 1-2.該当する就業体験  | 1.企業等における業務への従事  |
|                            | 1-2.で「3.その他」の就業体験の内容(記述欄)   |  |
|                            | 1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)   | 学休期を中心に学生の希望を踏まえ受入企業を選定しその企業での業務に従事させる   |
| 要素②                        | 2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。  | 1.はい   |
|                            | 2-2.該当するインターンシップの内容   | 2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している  |
|                            | 2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容(記述欄)  |  |
|                            | 2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)  | 3年次  |
|                            | 2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)  | 2単位  |
| 2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)      | 3年後期に選択科目として開講している  |  |
| 要素③                        | 3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。   | 1.はい   |
|                            | 3-2-1.該当する事前学習の内容   | 1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている<br>3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている |
|                            | 3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容(記述欄)  |  |
|                            | 3-2-2.該当する事後学習の内容   | 1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている<br>2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている               |
|                            | 3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容(記述欄)  |  |
|                            | 3-2-3.該当するモニタリング  | 1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している   |
|                            | 3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容(記述欄)  |  |
|                            | 3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)  | マナー講座を実施した上、専任職員によるガイダンスを3回実施している。また担当教員によるエントリーシートの添削なども実施している                                      |
|                            | 3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)  | インターンシップで実施した内容を元に発表用の資料を作成するとともに報告書の作成も行わせている   |
|                            | 3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)  | 実習期間中に担当教員が実習先に出向き、視察を行っている  |

|        |  |   |
|--------|--|---|
| 要素④    | 4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。                      | 1.はい  |
|        | 4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み  | 1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている   |
|        | 4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)                                   |   |
|        | 4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)  | 報告書、プレゼンテーション資料の作成  |
| 要素⑤    | 5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。                      | 1.はい  |
|        | 5-2.該当する実施期間   | 1.連続した5日間以上の実施期間を確保している   |
|        | 5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)   | 実施期間原則10日間  |
|        | 5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)                                 |   |
|        | 5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)                                  |   |
|        | 5-2.「4.その他」の実施期間の内容(記述欄)   |   |
|        | 5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)  | 原則10日間の実習としているが、受け入れ先の要望で5日間の実習でも単位認定する場合もある  |
| 要素⑥    | 6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。 | 1.はい  |
|        | 6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容   | 4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している  |
|        | 6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)                                  |   |
|        | 6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)  | 実習期間中に企業側の担当者が評価を実施している   |
|        | 7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL         | <a href="https://mypage.osakac.ac.jp/syllabus//select/openIndex/">https://mypage.osakac.ac.jp/syllabus//select/openIndex/</a> |
| 問い合わせ先 | 大学等名   | 大阪電気通信大学  |
|        | 担当部署名  | 学務部   |
|        | 担当者役職名   | 次長  |
|        | 担当者氏名  | 吉川茂   |
|        | 電話番号   | 072-813-7588  |
|        | メールアドレス  | s-yoshi@osakac.ac.jp  |